

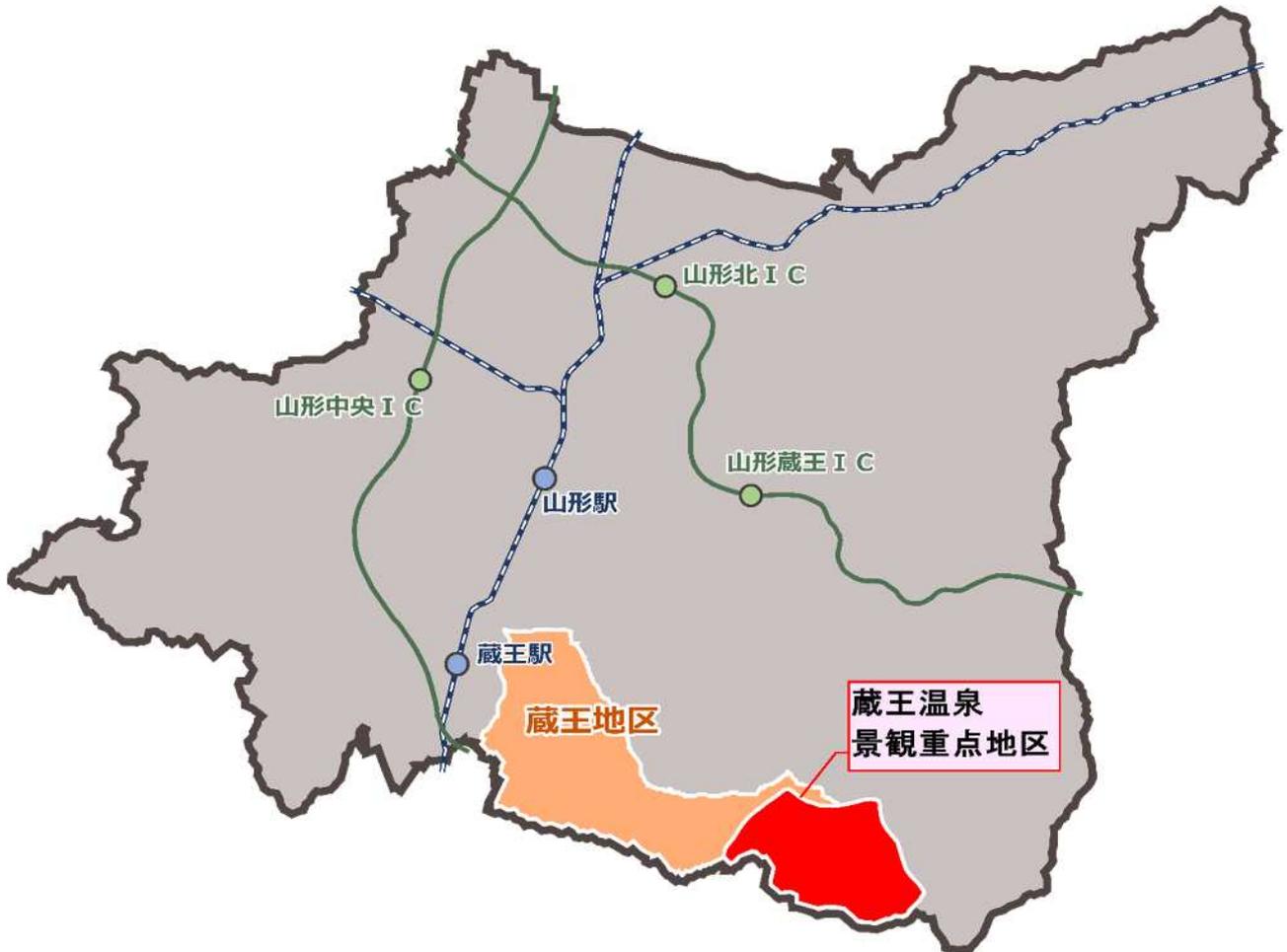
第1章 蔵王温泉地区の景観

1 蔵王温泉地区の概要

蔵王温泉地区は、山形市南東部に位置し、蔵王国定公園の自然豊かな山々に囲まれ、四季折々の景色を楽しむことができるほか、開湯から 1,900 年と県内最古の歴史を持つ蔵王温泉や蔵王温泉スキー場を有し、観光地としての賑わいをみせる地区です。

蔵王温泉の歴史は古く、西暦 110 年まで遡ります。天皇の命を受けた日本武尊（やまとたけるのみこと）が蝦夷平定のために遠征に来た際、家臣の吉備多賀由（きびのたかゆ）が敵の毒矢を受け、傷を負い苦しんでいたところ、温泉の湯気を見つけ、湯あみをしたら数日で回復したと伝えられています。

温泉街からは3つのロープウェイを利用して、春から夏にかけてのトレッキング、秋の紅葉狩り、冬は国内有数の蔵王温泉スキー場でスキーやスノーボード、世界的に有名な樹氷鑑賞やスノートレッキングなど、四季を通して楽しめる温泉リゾートとして発展してきました。



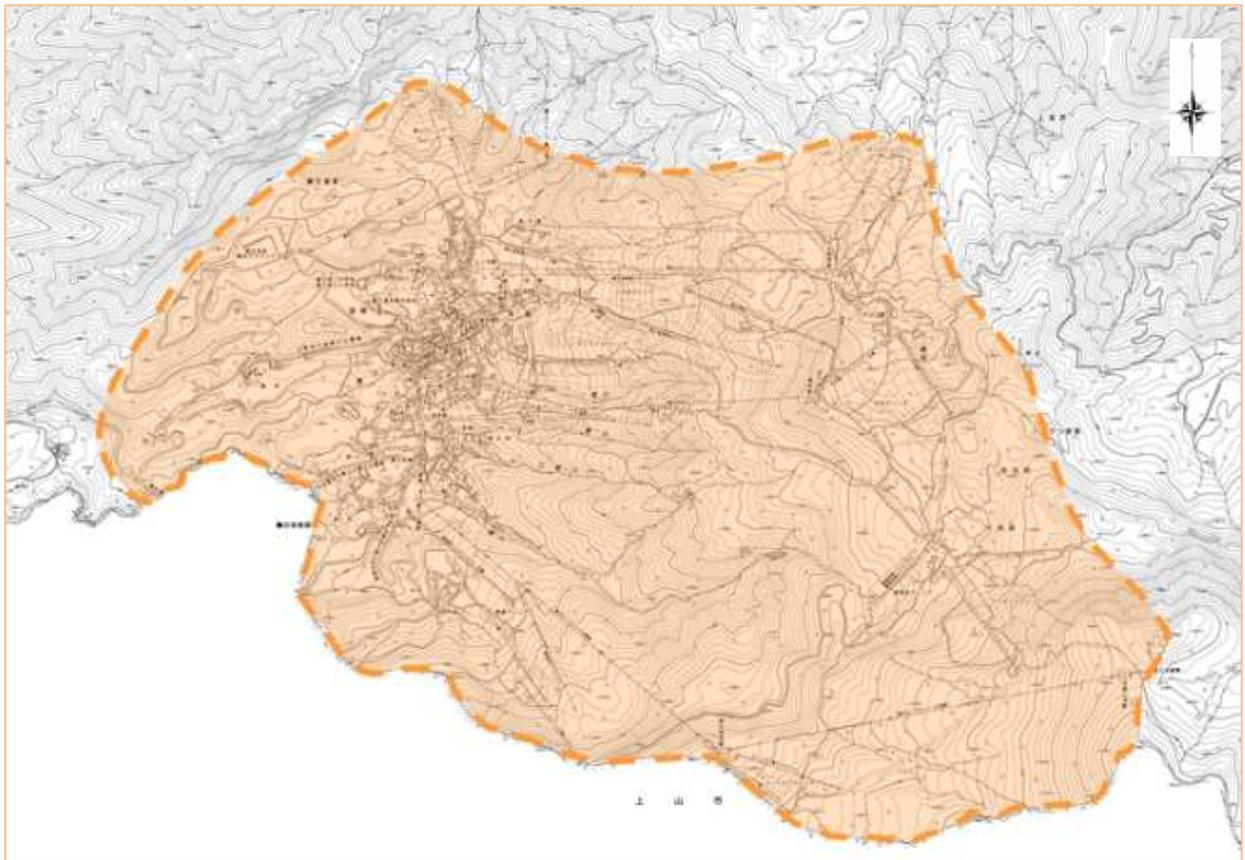
自然共生エリア

現状

- ・雄大な自然や蔵王温泉スキー場を構成する多くのゲレンデなどが立地しています。
- ・地区内のどこからでも山並みが眺望でき、春・夏の青々とした緑、秋の紅葉、冬の樹氷と、年間をとおして四季折々の自然を身近に感じることができます。

課題

- ・エリア内は一定程度自然に調和した景観まちづくりがなされていますが、駐車場や空き地、空き家、老朽化した建築物、看板などが多くみられるため、今後の整備が課題です。
- ・アクセス路等の雑草や手入れがなされていない樹木を整えるなど、安全で歩きやすいまちづくりが求められます。



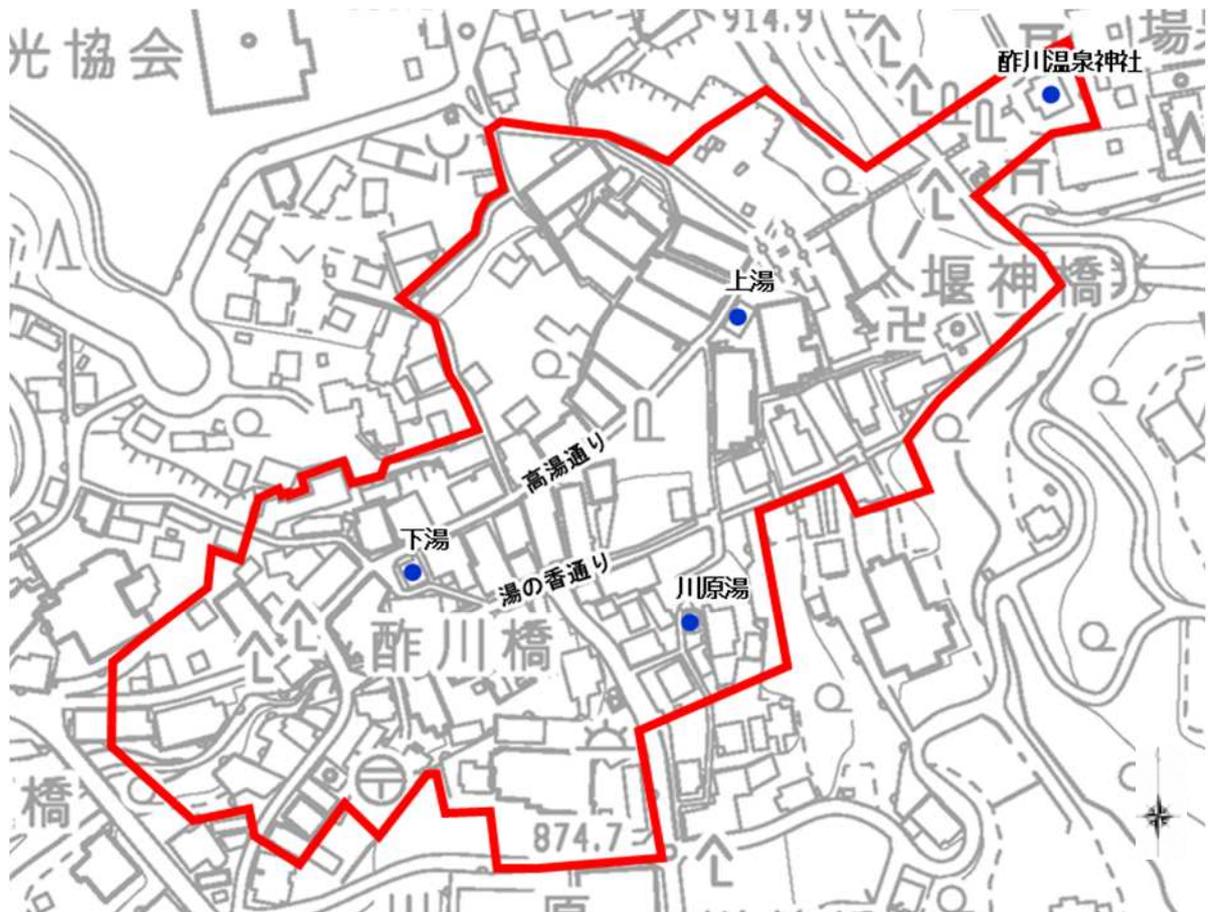
高湯通り・湯の香通りエリア

現 状

- ・石畳の道路沿道に3つの共同浴場（上湯・下湯・川原湯）、温泉宿などが建ち並び、酢川温泉神社の表参道としての、古き良き温泉街の雰囲気を感じられます。
- ・道路幅が狭く、建築物が建ち並んでいます。
- ・温泉が流れ、冬は湯気が立つ光景が印象的な酢川がエリア中央に位置しています。

課 題

- ・空き店舗が散在する中で、その一部は空き地になっており、利活用が求められます。
- ・温泉宿や店舗に設置された看板は、その種類や大きさが多様であるため、通りのイメージに合わせ統一することが求められます。



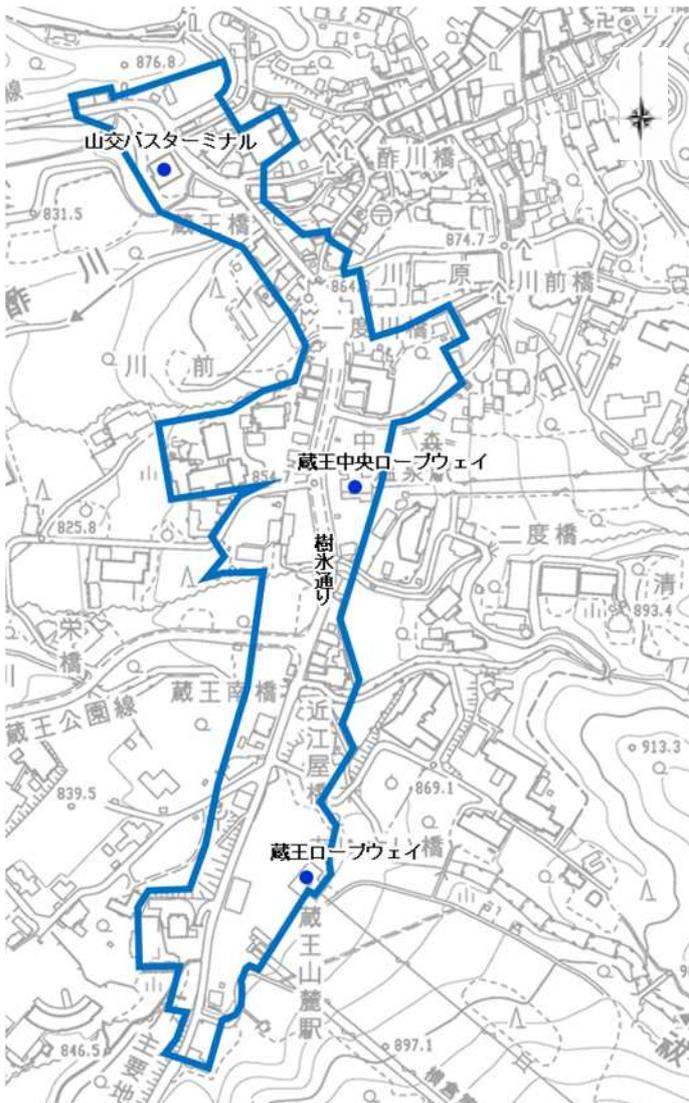
樹氷通りエリア

現状

- ・蔵王の山々全てを眺めることができ、ロープウェイ発着場やバスターミナル、飲食店等が立地しています。
- ・樹氷通り周辺を中心に国内外から多くの人々が来訪するなど、蔵王温泉地区の玄関口として賑わいをみせています。
- ・道路の拡幅に伴い、ゆとりある空間が形成されています。
- ・緩やかな統一感の中で洋風な建築物を中心に一部和風な建築物も立地するなど、個性ある建築物が点在しています。

課題

- ・空き店舗が散在する中で、その一部は空き地になっており、利活用が求められます。
- ・看板を複数設置している店舗が多くみられるため、設置は必要最小限とし、歩行者から見て美しく、わかりやすくすることが課題です。



上の台エリア

現 状

- ・蔵王の雄大な自然を一望でき、豊かな自然を身近に感じることができます。
- ・冬はスキーリゾート地として賑わい、春から秋にかけては様々なアクティビティを体験することができます。
- ・趣向を凝らした洋風の飲食店や宿泊施設が多く立地しており、賑わいを演出しています。

課 題

- ・エリア全体としての統一感が求められます。
- ・春から秋にかけて多くの店が休業しており、管理が徹底していない一部の店舗や看板、散在する空き店舗における雑草等が乱雑な印象を与えているため、整備が求められます。

